

沿線発展への貢献が社業の発展に —21世紀更なる飛躍を目指す

◆当社の企業行動指針 社是・信条

当社では、一九六九年三月に「社是・信条」を制定し、当社および従業員のあるべき姿を明確にした。いずれも創業以来培われ、たゆみなく受け継がれてきた経営指針をより強固なものとし、さらに次世代に伝えることが目的であるが、その中核をなす精神は、沿線のお客様の生活基盤を担う者として果たさなければならぬ使命の自覚と、その使命達成に向けての不断の努力を求めると、社是は次の通り制定されている。

「奉仕」 当社の鉄道事業が公益事業であることに鑑み、常に社会に奉仕する気持ちをお忘れな精神

「進取」 伝統の上に安穩とせず、常に開拓者精神を發揮して未来を切り開く精神

「和親」 社業・沿線の発展には、人の和が不可欠であるという精神

この社是を具現化するための行動指針として、以下の五つの信条を定めている。

一、企業使命を自覚し 誇りと自信をもって職責を完遂しよう

一、輸送の安全 正確 迅速を期し 社会の信頼にこたえよう

一、伝統をいかし 創造と開発につとめ 社業の発展をはからう

一、礼節を重んじ 規律を守り 協力して 明るい職場をつくらう

一、技能をみがき 知性を深め 品位の向上につとめよう
いずれも、沿線の発展があつてこそ社業の発展があるということを念頭に行動する指針であり、現在でもさまざまな事業活動において実践を図っている。

◆二十一世紀更なる飛躍を目指して グループビジョンの策定

東武グループを取り巻く経営環境は、鉄道輸送人員の減少、地価の下落、消費の高度化、会計基準の変更など厳しさを増している。そこで、今般、グループ全体を対象に「東武グループ再構築プラン」を策定した。このプランには、厳しい経営環境にあつても未来にわたり当社および当グループが確実に発展するためのさまざまな施策を盛り込むとともに、新たなグループビジョンとして、「人の集う東武沿線、信頼される東武グループ」を目指して掲げている。

・「人の集う東武沿線」

来るべき少子高齢化社会にあつては、いづれ首都圏においても人口の減少が見込まれている。こうした状況のもとで沿線の活性化を図るため、グループを挙げて沿線の付加価値を向上させ、魅力ある鉄道・沿線づくりを積極的に進めることによつて、多くのお客様から当社・当グループおよび当社沿線を選択していただくことを目指していく。

・「信頼される東武グループ」

当グループは鉄道・バス事業といった公益事業を核としており、毎日多くのお客様を安全にかつ快適に運んでいるという実績から「信頼」を得ている。しかし、そのことに慢心することなく、これを一層堅固なものとし、さらに他事業においても価格・品質両面で「信頼」を勝ち得ることで、グループ全体の「信頼」を高めていく。

今後は、この新しく定めたグループビジョンに則り、具体策を積極的に展開し、将来にわたり発展しつづけるグループを構築していく計画である。